

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら東中野

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか | 4 | 1 | 運動するには狭いが、区切ったり机上活動を取り入れたりして工夫している | 微細部屋が出来るので有効的に活用する |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | 3 | 2 | 連続して療育に入らず出来る限り空き時間を作っている | 人事によって配置加算が取れない月は少ない |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | 1 | 手洗い場で構造化している | 掲示物の整理を行う 動線の構造化を外した→スタジオ工事後必要に応じて行う 建物の構造上バリアフリーに出来ない箇所もある |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。 | 5 | | 毎日の掃除、月に1回のクレンリネスで確認している | 引き続き、支援の充実を図る |
| 適切な支援の内容 | ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している | 5 | | 個別面談と月1回の全体ミーティングで行っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている | 5 | | | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 3 | | 外部評価は実施していない |
| | ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 1 | 月1回のミーティング マニュアルに沿った研修を年数回行っている 年次ごとの本社研修 | 引き続き、支援の充実を図る |
| 業務改善 | ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 5 | | 半年に一度ASQ-3を実施 アセスメントを出来る限り2名体制で行う | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | ASQ-3の実施 出来る限り2名体制で行い、標準化されているか確認し合っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4 | 1 | アセスメントと保護者様の要望からケース会議を行っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 5 | | プログラムで取り入れている 朝礼、終礼時に共有をし、職員間でも確認している | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | 課題や留意点を朝礼と終礼で随時共有している 前回の担当者も共有する 支援計画に盛り込む | ヘルプの人が担当することが多い児童は情報共有しきれていないことがある 個別プログラムの立案が行えていないこともある 事前の情報共有を徹底し、プログラム立案を行う |
| | ⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | 1 | 前回の担当者も共有する アイデアを相談し合っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している | 5 | | 子どもに合わせている 必要に応じて保護者様にクラスの提案を行っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | | 朝礼にて行っている 課題や留意点は随時共有している | ヘルプの人が担当することが多い児童は情報共有しきれていないことがある |
| | ⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | | 終礼で共有している 随時確認し伝え合っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | 療育後すぐにサービス提供を記入している 記録方法の改善点を常に見直している | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | 半年に一度必ずモニタリングを実施 半年以内でも修正の必要の有無を確認 | 引き続き、支援の充実を図る |

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら東中野

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------|--------|--|-----|---------|---|------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ②1 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 1 | 4 | サービス担当者会議があまりない 分からない | 必要に応じて連携を取っていく |
| | ②2 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | | 5 | あまり連携していない わからない | 必要に応じて連携を取っていく |
| | ②3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | 5 | | 対象児無し |
| | ②4 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | 5 | | 対象児無し |
| | ②5 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 1 | 4 | 就学支援シートなどの対応は行っている 直接的ではないが保護者様を通して行う | 必要に応じてもっと積極的に行う 全員は行えていない |
| | ②6 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 1 | 4 | 直接的ではないが保護者様を通して行っている | 必要に応じてもっと積極的に行う |
| | ②7 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | 5 | 中野区のアドバイザーの助言や研修がある | 必要に応じて外部研修も行う 全員は行えていない |
| | ②8 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 5 | | 必要に応じて実施する |
| | ②9 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | 5 | | 協議会の実施状況不明 |
| | ③0 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | 気になることがあれば随時伝え合う 毎日一緒にいると気付けないお子様の成長を伝えられるよう心掛けている 保護者ニーズとゴールを合わせて決めている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③1 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | 5 | | ペアレントトレーニングは会社としての今後の課題とした |
| 保護者への説明責任等 | ③2 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | 入会時に説明している スタジオ内に掲示している | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③3 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 5 | | 双方の同意で面談を実施している | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③4 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | フィードバック時に行っている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③5 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 5 | | 必要に応じて実施する |
| | ③6 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | 相談窓口の掲示 | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③7 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | 1 | 面談室での掲示 イベントの様子を写真付きで掲示している メールにて連絡 | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③8 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 5 | | 施錠できる書庫にしまう 職員同士でも注意し合う | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ③9 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ④0 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 5 | | 必要に応じて実施する |

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら東中野

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------|--------|--|-----|---------|-----------------------------|--|
| 非常時の対応 | ④1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 5 | | 年数回の研修・訓練 | 保護者様への周知をもっと徹底する |
| | ④2 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | 1 | 年に2回(9月と2月)に実施している | 新しく異動、入職したスタッフに向けては3月実施予定。訓練前に口頭と机上では実施している。 |
| | ④3 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 5 | | 入会時確認。フェイスシートに記入してもらっている。 | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ④4 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 2 | 3 | 食育の機会なし イベントの際は事前に注意している | 指示書なし |
| | ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | 小さな事例も共有し再発防止に努めている | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | 互いに気になった対応がある際は随時確認し合う | 引き続き、支援の充実を図る |
| | ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5 | | 身体拘束同意書の必要性等随時確認している | 引き続き、支援の充実を図る |

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。